

②〇一般国道58号名護東道路の全線開通

受賞機関 内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所

キーワード 「多軸式特殊台車」による一括架設工法、CIM、地域活性化支援

全建賞審査委員会の評価ポイント

地域高規格道路として計画された自動車専用道路の整備事業。数久田ICオンランプ橋架設に当たり、CIMを活用した施工検討、夜間一括施工により、安全で迅速な整備を可能とした点が評価された。

1. はじめに

名護市内の国道58号沿線には公共施設や商業施設が点在し、それらを利用する生活交通と本部半島や国頭方面へ向かう観光交通（通過交通）が混在し、交通混雑が生じていた。

沖縄自動車道は名護市の玄関口である許田ICまで整備され、名護東道路は伊差川ICから世富慶ICまで整備されているものの、世富慶ICから許田ICにおいて自動車専用道路がないため、更なる北部地域の利便性の向上、地域活性化にあたっては、沖縄自動車道と連絡する自動車専用道路の整備が求められた。

また、沖縄県北部地域は海洋博公園をはじめとした観光施設が多く点在し、今後も観光客の増加が見込まれており、これらの観光施設等へのアクセス向上等、更なる観光支援が求められている。

2. 事業の概要

名護東道路は、高規格幹線道路である沖縄自動車道と名護市を結ぶ延長6.8kmの4車線道路であり、那覇空港や那覇港等の広域交流拠点とをネットワーク化することにより、北部地域の活性化を支援するとともに、名護市街地の渋滞緩和を図ることを目的としている。

平成24年3月に伊差川IC～世富慶IC区間4.2kmが暫定2車線で開通、令和3年7月に世富慶IC～数久田IC区間2.6kmが開通することで、伊差川IC～数久田IC区間6.8kmが暫定2車線で全線開通することとなった。

数久田ICオンランプ橋の工事期間中に国道58号（4車線）の通行を確保するため、一晩で運搬・架設が可能な「多軸式特殊台車」による一括架設工法を採用した。

上部工架設は全4径間のうち、第2径間から第4径間までを3回に分け、3夜間の全面通行止めを行い、多軸式特殊台車2台で桁を運搬しての一括架設は県内初となった。

また、夜間通行止めの社会的影響が大きいことから、CIMを活用した通行止め動画（ナレーション案内）を広報資料としてHPに掲載し、動画による広報活動を実施した。



数久田ICオンランプ橋の橋桁運搬の様子

3. 事業の成果

今回の名護東道路暫定2車線での全線開通により、北部地域（本部・今帰仁・国頭方面）の観光拠点へのアクセスが向上した。また、名護東道路へ交通の分散を図ることで、主要渋滞箇所が多い名護市内の交通混雑が緩和された。

また、許田ICから観光拠点である今帰仁城跡や道の駅「おおぎみ」までの所要時間が11分短縮した。今後も北部地域における地域活性化支援が期待されている。



名護東道路数久田ICの様子

4. おわりに

北部地域の活性化支援として、開通にあわせて、道の駅「許田」のリニューアル事業を実施し、相乗効果を期待する。最後に当該事業に協力いただいた関係各所の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

賛助会員 川田工業(株)、(株)オリエンタルコンサルタンツ、日本鉄塔工業(株)、飛鳥建設(株)、西松建設(株)、(株)ピーエス三菱、(株)安部日鋼工業、日本ファブテック(株)、大日本コンサルタント(株)、(株)長大